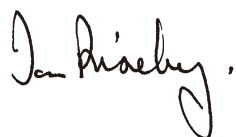


2017年～2018年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリー：
変化をもたらす

2017～18年度 国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー 氏




『ピエール・ド・ロンサール』

写真提供：鈴木敏之 会員

5月は青少年奉仕月間

2017～2018年度(第60期 小原年度)

5月第3例会プログラム

5月24日(第2940回) VOL. **40**

- | | |
|-------------|---------|
| ●点 鐘 | 会 長 |
| ●ロータリーソング | 奉仕の理想 |
| ●ビジター紹介 | 親睦活動委員会 |
| ●幹事報告・委員会報告 | |
| ●会 食 | |
| ●新会員卓話 | 高田 知己会員 |
| ●にこにこBOX | S.A.A |
| ●出席報告 | 出席委員会 |
| ●点 鐘 | 会 長 |
| ●クラブソング | ともに歩もう |

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

RI(国際ロータリー) 承認 日本国内247番
創立 1958年2月14日(昭和33年)
承認 1958年3月7日(昭和33年)

事務局：土浦市中央2-16-9 (常陽銀行4F)
U R L <http://www.tsuchiura-rc.org>
例会場：L'AUBE Kasumigaura

土浦ロータリークラブ

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社
会長 小原 芳道 幹事 平島 隆之

TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830
E-mail office@tsuchiura-rc.org
毎週木曜日 12:30～13:30

★ ★ ★ ★ ★
60th
ANNIVERSARY

青少年奉仕月間について

廣瀬 太 青少年奉仕委員長

5月は青少年奉仕月間ということですので、それに因んでローターアクトについてお話ししたいと思います。

土浦ローターアクトクラブ（以下土浦RAC）は、2014年6月末に解散しましたが、当クラブ60周年記念事業として、2017年9月20日の例会から再開いたしました。

当初6名で始まったメンバーも、5月13日の例会で1名入会し、14名となりました。当初は頼りなく感じた彼らも、この数か月間の例会、事業の参加を通して成長したように思います。

当RC会員の皆様には、土浦RACの更なる飛躍のためにも、18歳から30歳までの方であれば、どなたでも参加出来ますので、皆様のお子様、従業員の方、これはと思うお知り合いの方、等々候補者の紹介をお願いします。



卓話「青年会議所について」

一般社団法人青年会議所理事長 伊東 博幸 様

土浦青年会議所は、20歳から40歳までの青年で構成され、経営者のみならず青年であれば、男女関係なく入会が可能です。

目的には、「明るい豊かな社会」の実現を掲げ、まちづくり運動と自己研鑽を通して、地域の課題解決に向けて率先的に行動するリーダーの育成を行っております。

経済人は、「まち」や「ひと」に対して何かしらのサービスを行うことで、対価を得ております。少子化の中で、私たちが住み暮らす「まち」が住みよく、魅力溢れるものでなければなりません。また、来なくなる「まち」・住みたくなる「まち」にならなければ、結果的に、「ひと」に選ばれる事はなく、世帯数が伸びる事もあります。最終的には経済の縮小に繋がります。

私たち青年世代は、今から7年後の2025年問題を始めとし、その先22年後まで続く2040年問題まで、少ない人数でお互いを支え合い少数精鋭で活躍する必要があります。現在、先輩諸兄姉の皆様が「企業」や「まち」の繁栄の為に第一線で活躍されている間に、「まち・家族・企業」を支える為の人財育成は急務と考えております。

（一社）土浦青年会議所は、61年目として65年・70周年に向けた礎の年となります。本年度の運動として、会員拡大と人財育成を掲げ一年間活動を行ってまいります。

そして、皆様の企業を引き継ぐ後継者のご紹介だけではなく、後継者を支える青年世代にも是非気軽に研修事業へ参加を促していただくと、企業の礎となる若手社員の育成にも繋がります。是非ご検討いただけますよう、よろしくお願い致します。

私の考える青年世代の育成は、7年後までが勝負と考えております。そこを境に、企業の管理職である、団塊ジュニア世代が仕事と介護の両方を担う必要が出てくると言われております。企業を支える管理職が第一線から外れた場合の対応を想定し、次の世代を育成できるこの7年間でいかに過ごすかが未来への投資であると考えております。

「戦後の先輩たちは、荒廃したこのまちを一生懸命耕して頂きました。そして、私たちの親世代は、世界に誇るメイド・イン・ジャパンの木を植えてくれました。その後、私たち青年は、木に生る果実をタラフク食べて過ごしております。」日本の時代の変化は間もなくです、これからの未来の子どもたちのために新たに畑を耕し、木を植える必要があります。

一人でも多くの多くのメンバーと共に地域の未来について考え行動したいと思っておりますので、青年世代のご紹介と、私たち土浦青年会議所運動のご理解ご協力をどうぞ宜しくお願い致します。



平成30年4月28日(土) 一中地区公民館

テーマ：「世界の貧困と児童労働について」

内 容：国際奉仕委員会のメンバーより ・世界の貧富の差の現状・ミャンマーやガーナの児童労働・現在行われている世界の取り組み・私たちにできる身近なこと・SDGSについて、発表が行われた。また、先日訪台した滝口委員より訪台の報告も行われた。

成功点：委員会内で役割の分担がよくできており、幅の広い内容にも関わらず、本質的な話に着目し豊富な情報を提供することが出来た。

反省点：発表の際に、スムーズに進行が出来ていない箇所があり準備不足であった。内容や資料作りだけでなく参加者に効果的に伝える方法も学んでいく必要がある。また、事前の告知期間が短くなり参加者が少なかった。

総 評：〔土浦RC 廣瀬 太 青少年奉仕委員会委員長〕

今日の、例会は出席率が低くて少し寂しいです。

まず日本に生まれて良かった。しかし日本の製品は海外からの輸入している物も多く海外の生活が良くなることは、私たちのためでもあります。

平成30年5月13日(日) 萩原邸

テーマ：「BBQ例会」

内 容：昼頃から他地区のアクトメンバーやゲストとBBQをした。また、参加者で複数の料理を作り交流を深めた。また、ローターアクトの活動について説明をし会員増強を計った。途中から天候が悪化し室内へと移動した。

成功点：新たな入会者を獲得するに至った。準備期間が無い中で、準備等が不足なくできた。

反省点：多数のゲストが参加することで気を使いすぎてタイムスケジュールが疎かになり開会閉会時間が守れなかった。ゲストへの配慮が欠けていた。

総 評：〔土浦RC 小野〕

雨の中お疲れさまでした、工夫は色々みられたが、ゲストの方にもう少し気配りをしてもっと楽しめるようなレクリエーションなどもあるとより良いバーベキューになると思います。

次に生かしてください。



土浦RC60周年記念式典 打上げのお知らせ

小原芳道 会長

大槻利夫 60周年実行委員長

新緑の候皆様におかれましてはますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

さて、この度当クラブ60周年記念式典、および祝賀会を大盛況のうちに終えることができました。これもひとえに皆様方のお力添えのおかげと、深く感謝しております。つきましては、成功を祝して小宴を持ちたいと思います。

ぜひとも万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

日 時：6月6日(水)

18:30~20:30

場 所：霞月楼

